



平成 29 年 2 月 14 日

各位

会社名 燦キャピタルマネージメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 前田 健司
(コード番号：東証 JASDAQ2134)
問合せ先 取締役 経営企画室長 松本 一郎
(TEL. 06-6205-5611)
URL <http://www.sun-capitalmanagement.co.jp>

業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績動向等を踏まえて、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期通期連結業績予想（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）を、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 5 月 13 日)	272	31	15	132	円 銭 8.81
今回修正 (B)	283	△239	△266	△277	円 銭 △16.26
増減額 (B-A)	11	△270	△281	△409	円 銭 △25.07
増減率 (%)	4.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	357	△94	△157	△193	円 銭 △15.40

(2) 修正の理由

当社は、投資事業及び投資マネジメント事業の見直しを行い、その一つの柱であるインバウンド向け宿泊関連事業として、平成 28 年 8 月 4 日付「宿坊創生プロジェクトにおけるアレンジメント・サービス業務受託に関するお知らせ」で公表しましたとおり、大阪市天王寺区下寺町において、一般社団法人全国寺社観光協会及び有限会社サムエンタープライズ（以下、



「サムエンタープライズ社」といいます。)との共同事業で、宿坊施設の開発・運営事業をスタートさせましたが、平成29年2月10日付「和空下寺町プロジェクトにおけるアレンジメント・サービス業務終了に関するお知らせ」で公表しましたとおり、当該事業のアレンジメント・サービス業務を終了することとなったため、当該事業において見込んでいたアレンジメント報酬及び当該事業のために設立したSPV（不動産ファンド等の特別目的事業体）のエクジット時のキャピタルゲイン報酬を計上出来ないこととなりました。

また、平成28年6月末に当社100%子会社である鳥取カントリー倶楽部株式会社（以下、「鳥取カントリー」といいます。）の株式譲渡を予定しておりましたが、交渉が一旦白紙となったため、7月以降も引き続き連結対象子会社として売上高を計上することとなりました。

一方、平成28年11月よりSUN GREEN POWER ENERGY PTE.LTD.（以下、「SGPE社」といいます。）を当社連結子会社としました。

また、今年度後半から取組んで参りました販売用不動産投資事業において、現在、1件成約しております（これにより営業利益が約3百万円増加しております）。

上記のことから、売上高につきましては、宿坊施設の開発によるアレンジメント報酬及びキャピタルゲイン報酬約160百万円の獲得に至らなかったことにより減少し、鳥取カントリーの7月以降の売上高約120百万円を計上することとなったこと、SGPE社の11月以降の売上高約6百万円を計上することとなったこと、販売用不動産投資が成約したこと等から増加し、今回の業績予想数値となりました。

営業利益につきましては、宿坊施設の開発に係るアレンジメント報酬及びキャピタルゲイン報酬による売上総利益約160百万円の計上を見込めなくなったこと、鳥取カントリーの7月以降の売上原価及び販管費約110百万円が計上されたこと、SGPE社の11月以降の売上原価及び販管費約4百万円を計上することとなったこと、加えて当社新体制構築による人件費、東京支店開設及び新規海外事業に係る費用、旅費交通費等の販管費の増加として約70百万円及び海外子会社の買収に係る費用で約50百万円が発生したことによって、今回の業績予想値となりました。

経常利益につきましては、上記に加え、当社が実施した第三者割当増資に係る発行費用等が約30百万円発生したことにより、今回の業績予想値となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、上記に加え、鳥取カントリーの株式譲渡による特別利益約120百万円を見込んでおりましたが、交渉が一旦白紙となり、その後いくつかの候補先と交渉はしていたものの、現在においても未だ譲渡先が確定していないことにより、今回の業績予想数値となりました。

(注) 上記の予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上